

薬物乱用防止教室講演会

2006.10.10(火) 14:15~15:05

「薬物が心身に及ぼす重大な悪影響」

講師 荒木 憲一先生 (医学博士)
(長崎ウエスレヤン大学 社会福祉学科教授)

10月10日(火)に、本校体育館において本校職員・生徒 1,100名を対象に、「薬物乱用防止教室」が開催されました。医学博士である荒木先生による、依存性のあるアルコールとタバコそしてドラッグなどの薬物についての危険性の話に、生徒達も真剣に聞き入っていました。



ドラッグや覚醒剤と同様に、タバコやアルコールもとても危険である事がわかりました。特に女性は、男性よりアルコール依存になりやすく、お腹の赤ちゃんにも影響を与えてしまうという事を聞いて、恐ろしくなりました。

生徒の感想から

覚醒剤や大麻などは悪いものだと思っていましたが、私達と同世代の人達も乱用していると聞いて、とても危険なものなのにどうしてこんなに身近にあるのか不思議です。

芸術鑑賞会

2006.10.17(火) 13:00~14:45 諫早文化会館

『Challeng-ed~遠い水の記憶~』 劇団 東京芸術座

10月17日(火)に、東京芸術座による「芸術鑑賞会」が開催されました。

舞台設定が学校であり、スポーツを通して教師と生徒との触れ合いがテーマであったので、諫高の生徒達も身近な問題として感じられ、また笑いあり、感動ありのブロードの劇団の上演を熱心に鑑賞していました。

あらすじ

バルセロナ・オリンピックの平泳ぎ種目でメダルを期待されていた高橋は、代表選考会を兼ねた日本選手権で予期に反して三位にとどまり、オリンピック出場のチャンスを逸す。競技者としての将来を思い悩んでいたところ、公立盲学校・校長から保健体育の教師として奉職し、「視覚障害の生徒たちに水泳を教えてほしい」と懇願される。就職につきながらも心の奥底に挫折感を秘めた高橋、「悪意なき同情」に反発する備つきやすい心を持った生徒たち。高橋は自身の人生を見つめ直すため、自分の学んだことを生徒たちに伝えるために、再び日本選手権にエントリーする。そんな高橋に生徒らが共感し信頼を寄せはじめる……。



この中で
「あお」

問題
あお

↑ 上図のあおを、手を使って、あかくしてください。

部活動・他の記録

~10月も、諫高生は頑張りました。~

<p>陸上部</p> <p>県新人戦陸上競技 <女子>総合の部 個人 走高飛 優勝 榎嶋公子 走幅飛 優勝 徳永恵実 200m 2位 濱崎登江 1500m 優勝 山口詩織 3000m 優勝 清川有梨奈 2位 中村知可子 <男子>総合の部 個人 1500m 2位 小嶋優志 5000m 優勝 小嶋優介 2位 吉川将也</p> <p>第61回国民体育大会(神戸) <女子> 松永 明希 少年女子共通 3000m 4位 少年女子A 1500m 10位 <男子> 延壽寺博亮 少年男子A 5000m 7位</p> <p>第26回日本海駅伝 第6位 (吉川、延壽寺(陸)、新井、牛水、山下(拓)、小嶋、小嶋)</p> <p>第8回九州瀬戸内高校女子駅伝 第2位(桐谷、清川、中村、山口、吉川)</p> <p>第22回諫早レディースロードレース 高校5000m 優勝 桐谷 瞳 2位 吉川 佳 3位 清川有梨奈 4位 平山 遥子 5位 村岡 茜 (最激戦区の高校5%を1位から5位まで諫高が独占)</p>	<p>ソフトボール部</p> <p>県新人戦ソフトボール競技 準優勝</p> <p>テニス部</p> <p>高校テニス選手権大会1年生大会 <女子> 3位 徳永麻理</p> <p>ソフトテニス部</p> <p>中地区高校生秋期大会 <女子> 3位 片瀬・石津 <男子> 3位 陣野・野口</p> <p>英語弁論</p> <p>第15回長崎県高等学校英語弁論大会 3位 若松千賀</p> <p>2006高校生まちづくりトーキョー</p> <p>まちづくりスピーチコンテスト 最優秀賞 永江倫子 「もしも諫早市長になったら」</p> <p>SSH(スーパーサイエンスハイスクール)</p> <p>課題研究 「ペーパーマッシュルームの研究」 テレビ放映 「おはよう日本」 NHK全国放送 9/29 「もってこい長崎」NHK長崎放送 10/18</p>	<p>高校5日 桐谷(諫早)が初優勝</p> <p>諫早勢5位まで独占 寺井が4連覇</p> <p>「自分が引張る」</p> <p>後援に走りて伝えた思い</p>
---	--	--

高校5日 桐谷(諫早)が初優勝

諫早勢5位まで独占
寺井が4連覇

「自分が引張る」

後援に走りて伝えた思い

名門のエース
ようやく笑顔

賞状
長崎県立諫早高等学校
第15回英語弁論大会
最優秀賞
若松千賀

県高校英語弁論大会
小西さん(諫早)1位

THE 17th ENGLISH SPEECH CONTEST

賞状
長崎県立諫早高等学校
第15回英語弁論大会
最優秀賞
小西 悠

~生徒の感想から~

私は見ることも聞くことも話す事も出来るから、今まで何も感じなかったけど、それは当然の事でなく、幸せな事なんだと思います。勝ち負けのように目に見えるものよりももっと大切な何かがある事に気づかされました。劇の中に出てきた「悪意なき同情」という言葉が、心にずしっときました。私も車椅子の困っている人を見たら「何かお手伝いしてあげなきゃかな？」と考えます。きっとそんなものを「悪意なき同情」と言うのだらうと思います。



すでに知っている人は、まわりのわからない友達に教えてあげましょう。